

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分)

都道府県名:大阪府

1. 事業名	OSAKA女性活躍推進事業
2. 実施期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日
3. 事業の趣旨・目的	<p>・産学官等9団体で構成する「OSAKA女性活躍推進会議」と連携のもと、女性が輝く大阪の実現に向けて、企業の経営者や若者の意識改革にかかる啓発事業を充実・強化する。オール大阪で女性の活躍推進に向けた機運醸成に努め、男女が持てる力を存分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる元気な大阪をめざす。</p> <p>・女性活躍推進法の改正により令和4年から一般事業主行動計画策定が義務となった従業員101人以上300人以下の企業への行動計画策定を促すため、大阪労働局とも連携し、一般事業主行動計画の策定を要件とする「大阪府いきいきプラス事業者認証」への応募を促進する。</p> <p>・働く場などあらゆる分野における女性活躍推進を加速させるため、「大阪府男女いきいき事業者表彰」受賞事業者の先進的な取組について広く周知を図る各種啓発事業を実施する。</p> <p>・企業で役員や管理職として活躍する女性をロールモデルとして招き、キャリアアップやワーク・ライフ・バランスについて講義いただくことにより、働く女性が今後管理職や役員をめざすため、キャリアアップやモチベーションアップを図る研修を実施する。</p> <p>・若年層の固定的性別役割分担意識の解消や職業観の醸成を目的に、生徒・学生を対象に、社会人ロールモデルによる体験談の発表やロールモデルを囲んでのグループワークを実施し、女性のライフイベント時の対応方法等含めた、自分らしい「生き方・働き方」について考えてもらう。</p> <p>・コロナ禍で増大した離職問題、健康不安、生活不安、DV、性暴力被害など、困難な状況におかれている女性からの相談に対応するため、SNSを活用した相談を実施する。</p> <p>・孤独、孤立で不安を抱えたり、生活に困窮している女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、「人」・「情報」・「物」を提供するコミュニティスペースを設置。様々な困難・課題を抱える女性に対する支援を実施する。</p>
4. 事業内容	<p>①「OSAKA女性活躍推進 ドーン de キラリフェスティバル 2023」の開催 大阪府域における女性の活躍推進に資するため、幅広い分野の団体が参画し、女性活躍推進に関連する様々な事業を集約して、OSAKA女性活躍推進月間(9月)に、2日間にわたり開催した。 女性活躍推進のホームグラウンドであるドーンセンターで対面事業を実施するとともに、可能な限りWEBでも配信する「ハイブリッド方式」を採用し、より多くの人が参加できるプログラムとして実施した。</p> <p>②「ロールモデルに学ぶ!働く女性のキャリアアップ研修」の開催(2回) 女性の役員・管理職登用を促進するため、「大阪府男女いきいき事業者表彰」受賞事業者の社員や「活躍する女性リーダー表彰(大阪商工会議所実施)」の受賞者がロールモデルとして出演するセミナーを実施した。女性のキャリアアップと、企業の枠を超えたネットワークづくりに寄与した。</p> <p>③「ライフデザインの描き方セミナー」の開催(2回) 「大阪府男女いきいき表彰」受賞事業者の社員がロールモデルとして出演するセミナーを実施。様々な分野で活躍する女性ロールモデルの情報を提供するとともに、男性ロールモデルの出演等により、男性の働き方改革や家事育児参画についての理解を促進した。</p> <p>④「女性のためのSNS相談」の実施 コロナ禍で顕在化した離職問題、健康不安、生活不安、DV、性暴力被害など、困難な状況におかれている女性からの相談に対応するため、SNSを活用した相談を実施した。</p> <p>⑤ドーンdeキラリフェスティバル2023with万博の開催 ウーマンズ パビリオンをテーマとしたトークセッションを開催。また、万博開催地である大阪のさらなる女性活躍推進に向け、大阪の産学官労の様々な立場の方でのパネルディスカッションを実施した。</p> <p>⑥「コロナ禍において困難・課題を抱える女性に対する支援事業」 カウンセラー等の資格をもつ女性のスタッフによる支援情報の提供や専門の相談窓口等の紹介、同じ悩みや不安を抱える方同士が交流できる場の設置、就職面接用のスーツ等の衣類、靴、化粧品、生理用品等の提供を実施した。</p>

5. 事業効果及び効果検証の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進について府民全般に意識啓発を行うことで、府民の関心を高め、女性の就業環境の改善が期待される。 ・企業の先進的な取組を紹介することにより、女性が働きやすい職場環境の整備に取り組む事業所が増加することが期待される。 ・事業主行動計画策定・公表を要件とする「大阪府男女いきいきプラス認証」事業者を対象とした「大阪府男女いきいき表彰」の受賞事業者を紹介することで、「認証」及び「表彰」への関心を高め、女性活躍推進法に基づく事業主行動計画策定する事業者が増えることが期待される。 ・役員や管理職として活躍する人から、部下育成やマネジメントのノウハウや、役職者として必要なスキルなどを学ぶことで、キャリアアップへの不安を解消し、役員や管理職をめざす人を増やすことが期待できる。 ・生徒・学生向けの啓発事業を実施することで、生徒・学生が就職先企業の女性活躍推進の取組を重視するようになれば、企業側が女性活躍推進の必要性を認識し、積極的に取り組むようになり、ひいては社会全体の女性活躍推進に向けた機運醸成につながることを期待される。 ・SNS相談を実施することで、困難な状況におかれている女性や、若年層などへのアプローチが可能となり、これまで相談につながっていなかった層からの更なる相談が増えることが期待できる。 ・電話・面接等の女性相談事業に加え、相談スペースや同じ不安や悩みを抱える方同士が交流できるスペースを設け、相談者に寄り添ったきめ細かい支援を行うことにより、女性が直面している困難・課題が解決され、自立につながることを期待できる。 ・貧困問題等に直面している女性に対し、民間企業等からの寄付による生活物資等を提供する取組を行うことにより、コロナ禍において顕在化した様々な課題を抱える女性に対する支援についての社会的な機運醸造につながることを期待できる。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府男女いきいきプラス認証(※)」認証事業者数の増加:R5年度末時点で143者(前年度から12者増加) ※事業主行動計画の策定・公表を要件とする大阪府の認証制度で、平成30年度創設 ・OSAKA女性活躍推進会議構成団体がそれぞれのノウハウを活かしたセミナー等の事業を実施することで、さまざまな切り口で女性活躍について考えてもらうきっかけができた。 ・「コロナ禍において困難・課題を抱える女性に対する支援事業」の利用者数は1132人(R6年2月末時点)。利用者へのアンケートでは、満足度90.4%(R6年2月末時点)であった。 ・「市町村推進計画」(女性活躍推進法第6条2項)の策定市町村数は令和5年4月1日現在39市町であり、目標達成に向けて、引き続き策定を呼びかけていく。
7. 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府の女性の就業率は、上昇率が全国に勝り全国との差は縮まりつつあるものの、全国45位であり依然として低い。 ・これまでの企業への働きかけに加え、就業している若い世代や、就業前の生徒・学生をターゲットとした事業が引き続き必要。
8. 事業の実施体制	<p>【連携団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OSAKA女性活躍推進会議 大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、近畿経済産業局、公益財団法人21世紀職業財団(関西事務所)、日本労働組合総連合会大阪府連合会、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム ・大阪府男女共同参画推進ネットワーク 27団体 ・女性活躍推進に関する庁内連絡会議 大阪府政策企画部、総務部、福祉部、商工労働部、環境農林水産部、教育庁 ・OSAKAしごとフィールド女性活躍推進支援ネットワーク会議 OSAKAしごとフィールド、大阪家内労働センター、大阪福祉人材支援センター、大阪府保育士・保育所支援センター、大阪府母子家庭等就業・自立支援センター、大阪府よろず支援拠点、大阪弁護士会、大阪労働局、雇用労働相談センター、ドーンセンター ・一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 ・ドーンセンター指定管理者 ・「コロナ禍において困難・課題を抱える女性に対する支援事業」に協賛いただける民間企業・団体等